

ふおくぶるの開架書架

10・11
月号

発行者…
FOBUL
(別府大学図書館友の会)

石垣祭にてビブリオバトル開催決定!!

昨年の石垣祭でも開催しましたビブリオバトル。今年も十一月四日、ラーニングコモンズ(十八号館四階)にて開催します!

本を紹介するパトラー募集中です。入賞者には景品がございます! ぜひこの本を紹介したい、景品が欲しい方ご参加お待ちしております。パトラーは難しいけど、ビブリオバトルが気になる…、ビブリオバトルがイマイチわからない方は、ぜひ気軽に見に来てください。何かもらえるかも? 詳細は、今後張り出されるポスターをチェック!

第四回読書会 開催!

七月七日、七夕の土曜日に、読書会を開催しました。連日の雨により参加者がいるか不安でしたが、三人の方が来てくれて、主催のFOBULから二人、今回本を選んでくれた先生を加えて、計六人で行いました。

今回の本は、笹井宏之さんの『てんとろり』(書肆侃侃房)。初めての歌集です。最初に一人ずつ本を読んだの感想を言った後、それぞれ気になる短歌をいくつか挙げていき、その歌について意見や感想を言っていく形で進行了しました。笹井さんの短歌は抽象的なものが多く、一つの歌でいくつもの解釈が上がりました。自分の持ったイメージとは違うイメージを知ることができ、有意義な読書会となりました。

興味を持たれた方は、是非次回読書会にお越しください。

(和田)



『優しい音楽』瀬尾まいこ著 (双葉社)

今回私が紹介するのは、瀬尾まいこさんの短編集『優しい音楽』です。

駅でいきなり声をかけられたことをきっかけで恋人となった二人の心温まるラブストーリー『優しい音楽』、不倫相手の子供と二人きりで一日生活することになった『タイムラグ』、心変わりの早い彼女との、少し不思議な同棲生活を描いた『がらくた効果』の三話が収録されています。

人がそれぞれ持つ過去や問題を受け止めながら、希望や活路を見出す人々の姿は、正に瀬尾まいこさんの魅力が詰まった一冊です。読んだあとには心がほっこりした気分になれます。

秋といえば読書の秋! この本や好きな本、ちよつと気になる本を手にとって、秋の夜長の時間をちよつと贅沢に使ってみてはいかがでしょうか。

(仙波)



ベッキーの図書館豆知識

やっほー! ベッキーだよ☆夏の暑さが消え、秋の寒さを感じる季節になってきたね。ということで、読書の秋だね! みんな本を読んでいるかな? みんなは本を読むときどの図書館を利用するかな? 身近だと、大学図書館だね。県立図書館や市立図書館の公共図書館もあるね。図書館にも種類があるけれど、それぞれ定める法律が違うよ。

公共図書館は「図書館法」、小中学校・高等学校の図書館は、「学校図書館法」に基づいて設置されているよ。大学図書館は、図書館に関する具体的な法はないけれど、「大学設置基準」に基づいて設置されているよ。

それぞれ法律が違う分、行っていることが違うから図書館は各々特色がみられるね。



♪ オススメ音楽・映像作品



第3回

『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE』

『二人の英雄』

小さい頃、仮面ライダーや戦隊ヒーローなど、ヒーローに憧れた人は多いと思います。今回紹介する映画は、ヒーローが架空ではなくなった世界で、ヒーローを目指す少年達の物語『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE』二人の英雄』です。

原作は少年ジャンプ連載の大人気漫画、堀越耕平さんの『僕のヒーローアカデミア』。総人口の約八割が何らかの超常能力「個性」を持つ世界で、無個性だった主人公のデクが、ヒーロー輩出の名門・雄英高校で仲間と切磋琢磨し、ヒーローを目指す物語です。ヒーローが職業である漫画やアニメは多いですが、この作品では舞台がヒーローを目指す学校というのも特徴的です。

映画は、原作で描かれなかった夏休みの話。平和の象徴・オールマイトに連れられて世界中の科学が集結した「アイランド」に来たデクは、父親のようにヒーローを助ける科学者を目指す、無個性の少女メリッサと出会います。デクは偶然合流したクラスメイト達やメリッサと一緒にパーティーに行く待ち合わせをしますが、そのパーティーの最中、突如島中の管理システムを敵に占拠されます。ヒーロー達も拘束され抵抗ができません。そんなピンチに、遅刻したことで監視の目から外れたデク達は、監視システムを回復させ皆を助けるために、立ち向かっていきます。

クラスメイト二十人全員を出しながら、戦闘などメインは半分に絞っているため、今回の映画が初めてという人でもキャラクター追っつきやすい印象でした。

この映画の最大の見所は、何といってもアクションの作画です。ヒーロー物には欠かせないアクション。このアニメを手掛けるボンズはアクションの作画に定評がある会社で、「TVアニメの時から迫力のある作画でした。それが映画の大画面になることで、爆破や氷などの演出がより映えて、迫力もより増します。



サブタイトルの「二人の英雄」は、デクとメリッサ、デクとオールマイトなど、様々な解釈ができます。しかし、どの登場人物も紛れもなくヒーローでした。王道のストーリーに迫力ある作画。興奮で、何度も叫びそうになってしまいました。少年の心に響いて盛り上げられる、最高のヒーロー映画です。

(和田)

コラム

今年七月に、Twitterで静岡市立図書館のツイートが話題になりました。そのツイートは、ホッチキスで大量の穴が開けられた本の画像を添付して、「本がかわいそうだ」と本の扱い方の注意を促す内容です。破損された本は『飛ぶ教室(ケストナー少年文学全集4)』(岩波書店)で、本を手にとった利用者が破損に気づいて届け出たそうです。この破損された本は穴が開いていて棚に戻せる状態ではないため廃棄せざるを得なくなりました。誰が何の目的を持ってこのようなことをしたかは不明です。

図書館の本は、不特定多数の人が読み、常に中身を読める状態にしなければなりません。そのため本の破損は許されなことです。軽度な破損なら図書館で修復しますが、今回のケースは意図的と読み取れ、弁償を求めてもおかしくないことです。本を無料で貸出することができる分、本を借りたときと同じ状態で返却するマナーは守ってほしいです。

もし故意に破損した場合は、自分で直さず図書館に持って行って相談しましょう。むやみに自分でセロファンテープ等で直すと更に劣化してしまい、悪い状態になることがあります。図書館に持っていく、修復の専門的知識のある職員の方に任せましょう。

(樋口)

🌸 終わりに

こんにちは、FOBU!部員1年の里田です。後期になり学校にも慣れてきました。

皆様は、夏休みをどのように過ごしましたか?自宅でのんびりした、友達と遊んだ、家族旅行、または、そんな暇はなかったという人もいるかもしれません。

夏休みが明けてから天気が崩れたり気温の変化が急だったりで、体調を崩していなければ良いのですが…

近頃は、肌寒く感じる事が多くなり、秋の気配を感じます。秋になると何となくお腹が減りますが、FOBU!部員なので読書ということになります。後期の初めなので、色々忙しい事もあるかもしれませんが、たまには本を読んで、のんびりするの也不错いと思います。

(里田)

記事…和田一花、樋口明里咲、仙波寛人、里田耕平
編集…樋口明里咲